



いいで町

No.
141

議会だより



二人だけの入学式（中津川小中学校）

3月議会(2回定例会)

議会も「環境にやさしい」活動に取り組んでいます



定例会概要P2~P3
施政方針P4
総括質疑P5
予算特別委員会P6~P7
一般質問P8~P12
条例・意見書P13
人事・臨時会P14
各常任委員会P15
読者の声・あとがきP16

3月定例会概要

23年3月定例会は、3月2日から3月11日までの10日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成23年度各会計予算15件をはじめ、条例21件、補正予算13件、人事案件4件、発議他12件等65案件について審査しいずれも原案どおり可決、承認しました。

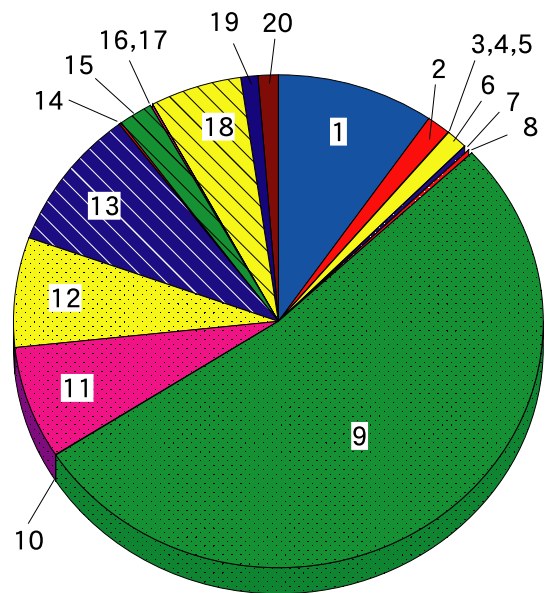
平成23年度予算は、一般会計が52億4千万円前年度比8.7%増、特別会計及び企業会計を合わせた予算総額は83億7390万円で、6.6%の増となっています。

性質別歳入歳出予算額

歳入

(単位：万円)

項目	予算額	
1、町税	5億9401	
2、地方譲与税	7900	
3、利子割交付金	180	
4、配当割交付金	20	
5、株式等譲渡所得割交付金	15	
6、地方消費税交付金	6800	
7、自動車取得税交付金	1700	
8、地方特例交付金	1400	
9、地方交付税	27億5786	
10、交通安全対策特別交付金	180	
11、国庫支出金	3億2463	
12、県支出金	3億542	
13、町債(町の借金)	4億4750	
14、分担金・負担金	818	
15、使用料・手数料	1億1715	
16、財産収入	861	
17、寄付金	10	
18、繰入金	3億4610	
19、繰越金	6800	
20、諸収入	8049	
合計	52億4000	



平成23年第2回

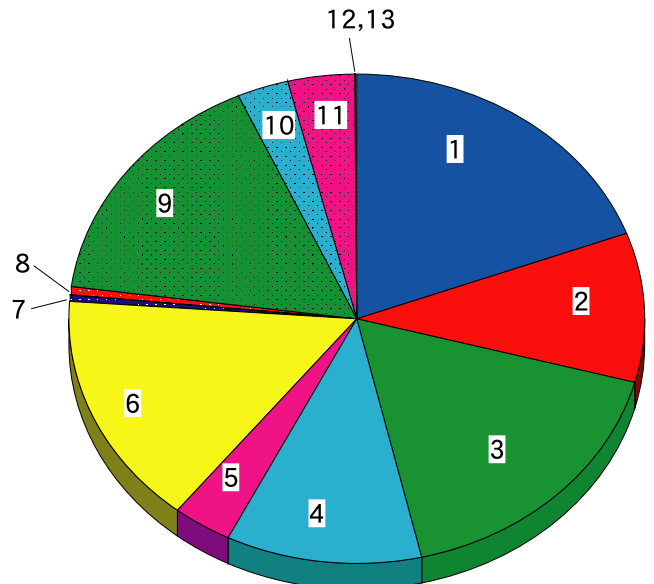
平成23年度主な事業計画

<p>☆子育て支援医療給付 1490万円</p> <p>☆住民税課関係 ☆デマンド交通運行事業 1490万円</p> <p>☆子育て支援医療給付 3400万円</p> <p>☆生産振興助成事業 609万円</p> <p>☆健康診断事業 964万円</p>	<p>☆物品調達事業(町の消耗品・燃料購入) 1501万円</p> <p>☆有機肥料センター機能強化工事 2300万円</p> <p>☆松くい虫・ナラ枯れ病対策 2300万円</p> <p>☆予防接種事業 2216万円</p> <p>☆健康福祉課関係 ☆グループホーム整備補助 3705万円</p>	<p>☆にぎわい再現プロジェクト事業 910万円</p> <p>☆雇用対策事業 3032万円</p> <p>☆配水池耐震診断等事業 2690万円</p>	<p>☆行政事務情報化推進事業 6109万円</p> <p>☆いいですね定住推進事業 910万円</p> <p>☆校舎耐震診断業務 590万円</p> <p>☆配水池耐震診断等事業 500万円</p>	<p>☆デジタル放送受信基盤整備事業 1143万円</p> <p>☆デジタル放送受信基盤整備事業 2億2402万円</p> <p>☆除雪機械整備事業 3300万円</p>	<p>☆デジタル放送受信基盤整備事業 1億1352万円</p> <p>☆消防関連事業 2億2402万円</p> <p>☆手ノ子地区等集落排水調査費 500万円</p>	<p>☆環境衛生・清掃事業 1億1352万円</p> <p>☆住宅耐震等リフォーム補助事業 200万円</p>	<p>☆木質利用促進事業 265万円</p>	<p>総務企画課関係 ☆役場庁舎ペレットボイラー設置事業 4750万円</p> <p>環境衛生・清掃事業 1億1352万円</p> <p>☆町道新設改良等事業 1億9418万円</p> <p>☆住宅耐震等リフォーム補助事業 200万円</p> <p>地域整備課関係</p>
---	---	--	--	---	---	---	----------------------------	--

性質別歳入歳出予算額

歳出 (単位: 万円)

項目	予算額	
1、人件費	10億6846	■
2、扶助費	4億1842	■
3、公債費(借金返済)	8億9819	■
4、物件費	7億31	■
5、維持補修費	1億8769	■
6、補助費等	7億432	■
7、積立金	1808	■
8、投資・出資・貸付金	2300	■
9、繰出金	7億9307	■
10、普通建設事業(補)	1億7810	■
11、普通建設事業(単)	2億4235	■
12、災害復旧費	301	■
13、予備費	500	■
合計	52億4000	



平成23年度施政方針

公平で公正な行政運営を



飯豊町長

後藤 幸平

23年度の重要事業

町長就任以来、議会の皆様を始め多くの町民の皆様の御指導と御支援を頂戴しながら、2年余りを駆け抜けてきました。この間、町民の皆様の声や社会の声に耳を傾け、行政運営の現状や町を取り巻く環境を把握しつつ、誰もが明日への希望を抱き、夢を語り合い、実現に向けて歩み続けることができ、厳しい環境下でも現実に近い環境のためのまちづくりに尽力してきました。

平成23年度においては、これまでの蓄積と成果の上に、さらに「語り合うまちづくり」「耕すまちづくり」「育てるまちづくり」を推進し進め、多様な事業を展開してまいります。

町には豊かな自然環境があり、直接分水嶺からの清らかな水が大地进行を育み、豊かな実りをもたらします。この環境を守り、安全・安

◎語り合う

まちづくり

地域の人材や資源を生かして「仕事をつくり出す」道筋として、作物栽培、食や料理、森の活用、6次産業の創造など、各々の「マイスター制度」や「仕事の学校制度」を立ち上げられないか、研究を進めてまいります。

心で品質の高い農産物を生産するため、住民が協力し環境を維持する努力が求められます。環境の整備や技術の改善に努め、安心して暮らせる生活環境を図ります。

◎育てる

まちづくり

飯豊町が目標とする将来像に近づくため、行政と住民が協働して事業の構想力と構築力を高め、実行してまいります。

◎耕すまちづくり

町の将来を担う子ども達が元気に生き生きと生活し、たしかな学力、ゆたかな心、すこやかな体を育む教育環境を整備し構築してまいります。

また、高齢者が施設で、在宅で安心して暮らせるための施策展開を行ってまいります。

施政方針を問う

新たな仕事づくり必要



山口文隆 議員

予算の執行と計画は

を常に意識しながら、町独自の評価方法を検討し実施します。

質問 前年度比53%増

の繰入金を充当した予算編成となっています。

自主財源の乏しい状況下、今後の予算計画とその執行に対する問題評価について伺います。

効果・効率的な

行財政改革を

町長 今後の行財政運営は、計画と実行、評価と改善を繰り返し、住民主体のまちづくりを行政が支えていくという基本姿勢で実践していきます。

事業の必要性と効果

新たな仕事づくりは

づくりを活用するため、その道の達人を講師として、多くの町民が学び、暮らしの糧を得る。その場として「仕事の学校制度」をスタートさせ、新たな仕事づくりにつなげたいと考えています。

また、企業誘致活動や、雇用施策に取り組んでいます。厳しい経済情勢の中、成果が現れない現状です。

質問 若者の定住促進を図るため、新たな仕事づくりの具体策と、広域連携による雇用創出について伺います。

「仕事の学校制度」を

実施

町長 むらの生活協同組合の組織化や、農産物に付加価値をつけ、農業所得の向上を図りたいと考えています。

これらの課題や技術、こだわり農産物を仕事

新たな保育サービスは

質問 育児に関する相互援助活動の具体的な内容を伺います。

夜間や休日も

預けられる施設を

町長 保護者の急病、急な用事や冠婚葬祭など、夜間や休日にも子供を預かるなどの支援について要望が増えて

いる状況から、ファミリーサポートセンターを設置し、子育て世帯の支援をしていきます。

保育料完全無料化は

質問 将来の明るい展望のための条件整備に、第2子から保育料を完全無料化にし、子育て世帯の支援を図る考え

はありますか。

次に進む課題として

町長 子育て支援と定住対策は極めて重要と認識しています。現在の各種支援策の評価を行いながら、次のステップの一つとして検討



委員会



岡田 美樹雄
予算特別委員長

平成23年度一般会計予算、特別会計予算及び水道事業会計予算について、予算特別委員会を設置し審査しました。委員長に岡田美樹雄、副委員長に中村仁一両議員を選任、3月8・9日の2日間にわたり審査を行い、いずれも認定すべきものと決しました。

一般会計

ボイラー変更の理由は

保育料完全無料化に

人件費の抑制必要では

小関委員 庁舎のボイラーを重油からペレット使用に代えるということだが、その利点は。

中村委員 子育て支援において、第三子以降保育料無料化になっていますが、完全無料化に取り組めないか。

長沼委員 職員数も人件費も増えていますが、行財政改革に逆行しているのでは。

総務課長 導入費も運用経費もボイラーの方が多額ですが、二酸化炭素の排出量の削減等を目的に変更しました。

町長 現在の無料化による父兄負担の軽減効果がどの程度なのか、子供手当の動向を見据えながら慎重に対応していきたいと思えます。

総務課長 昨年度より職員が3名増加しているのは保育士を新たに採用したことが主な要因です。人件費の増については、昇格昇給者が多かつたことによるもので、今後、しっか

りとした定員管理を進めていきます。こととなります。

外国語教育の内容は

鈴木委員 新学習指導要領の移行措置により、外国語教育が小学校でも実施されますが、その内容について伺います。手塚委員 町民総合センター「あくす」が開設20周年を迎えるということだが、今までに収容人員、ステージ等不便な点はありませんか。

教育長 具体的には英語活動ですが、5・6年生に年間35時間を想定しています。文部科学省で英語活動ノートを出していますので、それを中心に指導するところもあります。まちづくり室長 町の芸能発表会や各種コンサートで希望者が多く入場制限をしたこともありませんが、平面利用もできるので機能的なところもあります。



ペレットボイラー

特別 予算

積極的な参加は

山口委員 創意工夫プロジェクト事業に町としての関わり方と積極的な参加をうながすためには。

産業振興課長 山林資源の活用ということ町として積極的に応援し、相談にのつていきます。また、農業分野だけでなく商工業を含めた6次産業化の中で進めていきます。

高齢者虐待判定会議の実績は

船山委員 高齢者虐待判定会議の開催実績と虐待と判定された事例はあるのか。

健康福祉課長 開催実績はありませんが、高

年齢者虐待防止ネットワーク会議をつくり対応しています。また事

案については、地域包括支援センターの職員が向いて解決策に当たっています。

民間での緊急雇用は

嶋貫委員 ふるさと雇用再生と緊急雇用創出事業の民間での緊急雇用はできませんか。

産業振興課長 建設土木の職種は対象外で、会社等については内容に限らず雇用できますが、期間が1年か6カ月ということ短いため、該当する方がなかなかいない状況です。

農業専門指導員の

配置は

八島委員 農業の指導

員設置はどのような人を配置するのか。

産業振興課長 農業の制度が年々変わるので、農家個人の経営指導と稲作以外の、特に、畑作・果樹に対する技術指導ができる2名の方を嘱託専門員として配置をする予定です。

エコポイント事業は

後藤委員 バイオマス木質燃料利用促進事業のペレットエコポイント事業の内容は。

産業振興課長 木質バイオマス購入者に対してエコポイントを給付するもので、単価750円のものに対して10袋当たり1500円相当のゆりスタンプを提供するものです。

供給するものです。

特別 会計

生活排水事業に行政も積極的に

手塚委員 生活戸別排水事業で、民間企業の努力での推進でなく、行政の積極的な説明をすべきでは。

国保の運営大丈夫か

長沼委員 国民健康保険税が減額し、保険給付費が増額する予算ですが、基金を含めた将来の試算をすべきでは。

住民税務課長 昨年の

地域整備課長 生活排水の進捗状況はまだまだなので、環境の面からと県のリフォーム総合事業を活用しながら少しでも普及が高まるように取り組みます。

今後、基金が何年もつか検討していきます。



環境を考えた

一般質問

新年度の政策と展望は



鈴木敏夫 議員

- 町長の政治姿勢について
- 若者の雇用対策について
- 高校再編計画について
- 民俗資料の保存展示について

質問 町長の政治姿勢について伺います。

質問 若者の雇用につながる対策は。

仕事や所得の確保
歴史と文化を重視

潜在する資源を
有効に活用

町長 環境と循環に軸足を置く社会をめざし、農村のにぎわいを創出することが重要であると考えています。なお、基本となるのは、人格を尊重する機会平等社会であります。

町長 農商工連携など地域資源を利用した仕事づくり構想を具体化できないか検討中です。質問 第三セクター改革と産業振興策は。

先進地を視察し検討

町長 添川源泉の利用による産業おこしについては、先進地を視察し検討します。

質問 農業振興地域活性化対策として、特区法を活用しては。

今後の検討課題

町長 農村の活性化への特区法の活用等については検討します。

質問 高校再編計画について町の考えは。

今後の動向を注視

町長 対応については、その状況により検討を要するものと考えています。

質問 民俗資料を集合

して保存展示はできないか。

十分に研究検討

教育委員長 郷土の歴史と文化を身近なものとして親しんでもらえることが、ふるさとを大切にすることを文化意識の向上につながるものです。今後において検討します。

その他の質問

Q 役場庁舎にペレットボイラー使用できないか。

A 新年度予算に計上していません。

Q 第三セクターの統合は。

A 検討課題です。



一般質問

仕事の学校を立ち上げ6次産業化



長沼桂子議員

にぎわい再現のため 何をすべきか

質問 にぎわいを再現するためには

- ① 所得の向上を図る
- ② 働く場所の創出
- ③ 子育てしやすい環境
- ④ 生活環境の整備

この4つの施策が必要と考えます。

そこでまず、基幹産業である農業所得を上げるため、猫の目のように変わる国策に惑わされない町独自の農業政策が必要と思うが、その考えを伺います。

所得を得るための生業づくりに挑戦

町長 農林業の基本的産業は持続的に、農村を発展的に維持し、所得を得るための生業づくりに挑戦する道を歩むための仕掛けをすることに意を注ぎたいと考えています。

質問 集団営農組織や農業法人等への経営指導や支援が必要では。また、米は勿論だが山菜等の6次産業化に取り組み考えは持っていますか。

町長 農業従事者が減少し、いづれ担い手農家に集約してくるものと思われま。

仕事の学校を立ち上げ 対応

町長 農産物や林産物の6次産業化については、大事なことと思うが競争相手もおり厳しいので、「仕事の学校」を立ち上げ戦略を検討していきます。

質問 生活環境の整備については、今冬の豪雪を見ても雪をいかに処理するかだと思いますが、流雪溝や融雪パネルを整備し、少しでも快適な生活を送れる施策が必要では。

町長 流雪溝の整備は、水利権の問題や国・県との協議が必要で難しいと思いますが、流雪溝は一部課題は残るものの有効な手段と考え、翌降雪期に向け、実験事業として取り組みます。

融雪パネル実験事業に 取り組む

年までの受入れや、子育て住宅の整備をする考えはありませんか。

町長 本町では、各種子育て支援策を実施してきましたが、今後も子育てしやすい環境の整備に努めます。

質問 子育てしやすい環境づくりとして、放課後学童クラブへ高学年から高学年の受入れも検討します。

教育長 放課後学童のクラブについては、23年度から高学年の受入れも検討します。



きのこで6次産業化

一般質問

急速に進む高齢化対策は



手塚敏行議員

- 第5期介護保険事業の基本計画は
- 今後の介護施設整備計画は
- 介護保険特別会計の見通しについて
- 小白川浄水場・配水池の整備について
- 萩生地区の水源確保について

質問 急速に進む高齢化社会で、平成24年度から第5期介護保険事業計画が策定されます。その基本的な考えは。

基盤や介護の種類を計画に反映

町長 第5期の計画策定にあたっては、高齢者が要介護になっても可能な限り住みなれた地域で生活できるように介護、予防、医療、生

活支援、住いの5つのサービスを一体化した「地域包括ケア」の考えに基づいて取り組んでいきます。第6期以降も含め、日常生活圏要望調査を実施、サービ斯基盤の種類や量などを計画に反映していきます。

質問 町内には施設入所待機者が150名前後いますが、満足する今後の介護施設整備計

画は。

小規模特老は建設延期

町長 小規模特別養護老人ホーム29床の計画は、施設運営主体の特定や職員の確保等について検討する必要があるため、建設を延期することを決定。23年度はグループホームの建設と、今後は在宅介護支援のため助成費支給事業を予算化する計画です。

質問 介護保険特別会計及び介護保険料負担の見通しは。

介護保険料は負担増

町長 介護保険特別会計は急速に増加しており、12年度から22年度までで28倍に、今後については、それ以上になると想定しています。

このことから介護保険料も第4期は4150円、第5期は5540円となり、1390円程度の引き上げを予測しています。

質問 小白川浄水場及び萩生、手ノ子配水池は老朽化と耐震性も含め整備を急ぐ必要があると思うがどうですか。また、浄水場の処理方式は高度処理システムにする計画は。

町長 水道管の更新がほぼ完了した現在、基幹施設の整備が喫緊の課題です。23年度から制度事業を活用し、調査と事業に取り組んでいきます。「おいしい水」の追求として、活性炭などを活用した高度処理システムの導入を図って

浄水場高度処理方式で

町長 濁水期、萩生川の流下水量が極端に少ないことが課題となっています。関係機関との協議の結果、折草沢の流水を萩生川に流しこむことに取り組んでいきます。萩生水源は今後とも保全に努め危機管理体制の確立を図っていきます。

危機管理体制を急ぐ

質問 萩生川は夏場濁水等もあり十分な水量が確保されないのが、水道水にも影響を与えています。新たな水源として折草沢・中ヶ沢の水源確保を急ぐべきでは。また、水源地の安全対策は。

町長 濁水期、萩生川の流下水量が極端に少ないことが課題となっています。関係機関との協議の結果、折草沢の流水を萩生川に流しこむことに取り組んでいきます。萩生水源は今後とも保全に努め危機管理体制の確立を図っていきます。

一般質問

広大な森林を守るには



後藤 恵一郎 議員

水資源・森林の保全について

質問 近年、国内はもとより近隣市町でも外国資本による森林売買の事例が判明していきま

す。現行の国土利用計画法では、1ヘクタール未

満の土地に関しては都道府県知事への届け出の義務はなく、森林法においても民間林の

売買に関する規制はありません。所有者は山林を自由に売買できる

とのことで、県による実態把握に関しても限界があるのが現状です。

水源付近の山林の所有者が外国人を含む

題点として、地下水が大量に汲み上げられ水資源の確保に支障が生じたり、乱伐や無断伐採、土地の切り売りや転売されることなどにより森林の荒廃につながる

ことが懸念されます。森林を保全するためには、一人ひとりが森林の果たす役割や価値を再認識するとともに、

公共建築物における木材利用や住宅の新築やリフォームへの町・県内産木材の利用、木質バイオマスの利用促進

など、林業を産業として再生させていくことも重要であると考えています。

本町では無い

町長 本町では、外国資本による森林買収は確認されていません。

外国資本により森林が買収された場合の問

平成17年度から休止

町長 平成16年度に町内の平坦部の調査が終了したことにより山間部は平成17年度から休止しています。

財政面、人員の確保、更には土地所有者の協力が不可欠であり、課題はありますが、調査は必ず行わなければならないと考えています。

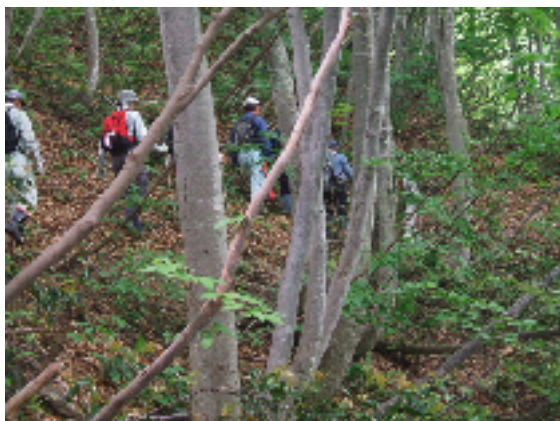
質問 法整備が進まない中、水資源の確保、

森林を保全するために条例の制定、公有林化をすべきと思うが。

前向きに検討する

町長 豊かな森林は水源涵養や飲料水の供給、地球温暖化を防止するなど多面的な機能を有し、住民に多大な恩恵をもたらす社会的な資産、財産です。

町民の安全・安心な暮らしのためにも検討してまいります。



水資源調査

町独自の基準作成



中村 仁一 議員

行政評価の導入と 子育て住宅を

質問 行財政改革大綱を策定するにあたり、限られた財源で効率的に政策を実現するには、行政評価システムの導入を図るべきと考えますが。

泉まで整備される予定なので国道沿いに、工業団地造成として、先行投資をする考えは。

空き工業団地に誘致を

評価基準を作成

総務企画課長 町独自の評価基準を作成し、事業の必要性と効果を常に意識し、導入を実施します。

質問 高規格道路が今

質問 若者の生活圏も置賜一円が多く、場所

の選定も含め、子育て支援住宅建設の考えは。

中ノ目南地区団地で

質問 不登校の区域外登校の対応と状況は。

不登校、改善方向へ

長期的な6名のうち、5名は改善されてきているので、今後も個別に面談を重ね、医療機関も含め対応していきます。

質問 本町はどぶろく特区を取得しているの

仕事の学校で

町長 新たな企業誘致は厳しく、当面残っている一区画の誘致に力を入れ、雇用は町内の情報提供を積極的に行っています。



空きがある東山工業団地

条例・意見書

新たに設定する条例

■光をそそぐ交付基金
金条例

国より交付される住民生活に光をそそぐ交付金を飯豊町光をそそぐ交付基金を設置しその取扱を定めるためのものです。

一部を改正する条例

■特別職の職員の給与に関する条例

町内経済情勢及び雇用状況に配慮し、町長の給与削減を引き続き行うためのものです。

■教育長勤務条件に関する条例

町内経済情勢及び雇用状況に配慮し、給与削減を行うものです。

■一般職の職員の給与に関する条例

人事院勧告に準拠し、新たに給与制度の導入を行うためのものです。

■特別会計条例

老人保健法廃止に伴い老人保健特別会計を廃止するためのものです。

■国民健康保険給付基金の設置、管理及び処分に関する条例

老人保健法廃止に伴うものです。

■町民野球場の設置及び管理に関する条例

町民野球場の使用例を他市町並に改正するためのものです。

■小屋除雪センター設置条例

■高齢者介護予防施設の設置及び管理に関する条例

■山林振興集会施設の設置及び管理に関する条例

■農作業準備休養施設の設置及び管理に関する条例

■そば製粉所の設置及び管理に関する条例

■婦人・若者等活動促進施設の設置及び管理に関する条例

■雪室施設の設置及び管理に関する条例

■勤労者研修センターの設置及び管理に関する条例

■下請等共同作業所の設置及び管理に関する条例

■肉用牛センターの設置及び管理に関する条例

■飯豊山ろく育成牧場条例

■環境管理施設の設置及び管理に関する条例

意見書の提出

○尖閣諸島領海侵犯事件の不起訴処分抗議、万全の領域警備を求め意見書

○民主党衆議院選挙マニフェストの早期の撤回・見直しを求める意見書

○環境管理施設について見直しを行うためのものです。

昨年の9月に発生した尖閣諸島領域侵犯事件について、海上保安庁艦船に衝突した船長を不起訴処分とした。重大かつ悪質な事件であるにも拘らず不起訴処分としたことは、今後、同様の事件が発生した際の前例を残すことになり、到底この措置に納得することができず提出するものです。

衆議院選挙で、無駄削減や国の総予算の組替えを行うことなどで財源を捻出し、政策を推進していくことを国民に約束しそのマニフェストに対する信頼をもって政権を託された。しかし財源の甘い見直しにより、実現不可能なマニフェストの早期撤回・見直しを求め提出するものです。

臨時会

人事

第一回臨時会は、2月9日に招集され、補正予算2件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

町各財産区管理会

委員の選任に同意

豊原財産区

後藤恒雄

大字萩生

細谷芳弘

大字中

手塚與右衛門

大字萩生

樋口仁一

大字萩生

長谷川正芳

大字椿

鈴木一弥

大字黒沢

佐藤幹彦

大字黒沢

添川財産区

内容は施設管理修繕費に充てるものです。

新野忠司

大字添川

梅津忠一

大字添川

横沢 要

大字添川

舟山忠芳

大字松原

草刈 一郎

大字添川

浅野 章

大字添川

井上俊幸

大字添川

豊川財産区

小野英男

大字小白川

井上仁弥

大字手ノ子

鈴木満昭

大字手ノ子

船山彰夫

大字小白川

伊藤 悟

大字高峰

佐藤利浩

大字手ノ子

3議員に

自治功労者賞

山形県町村議会

議長会表彰

人権擁護委員候補者の

推薦に同意

議員が山形県町村議会

議長会(通算11年)お

よび置賜地方町村議会

議長会(通算10年)よ

り自治功労者表彰を受

けました。表彰を受け

た議員は次の3人です。

定例会初日、3人の

菅野富士雄

置賜地方町村議会

議長会表彰

茂木栄子

大字添川

長沼桂子

嶋貫栄助



自治功労表彰

すみよい町づくりのため

調査しました

総務文教常任委員会

各課からの報告

◆総務企画課

○職員の新規採用者、一般職5名(うち保健士1、看護師1)

○地デジについて、高峰地区と中津川地区は

町で設置、手ノ子落合地区は共聴組合で対応

難視聴9区で43世帯

◆住民税務課

機能別消防団の任務及び身分等に関する要綱について、日中の団員確保が目的で4月1日以降適応。

をどの程度設置しているか。

答 消防団の経験があつて日中、中津川地区内に居られる方で人数は15名以内です。

災害時の避難場所は、町指定の18ヶ所で、災害時に食糧等を搬入することにしています。

質問と答弁

問 機能別消防団員の身分等に関する要綱について、また、災害時の避難場所、防災用品

をどの程度設置しているか。

答 消防団の経験があつて日中、中津川地区内に居られる方で人数は15名以内です。

産業厚生常任委員会

各課からの報告

◆産業振興課

・米の需給対策決定

◆地域整備課

・手ノ子地区で除雪機械による事故発生

◆健康福祉課

・小児用肺炎球菌とヒブワクチンの接種中止

◆中央診療所

・4月1日より新しく後藤医師就任

質問と答弁

問 子宮頸ガンワクチン接種の補助枠を増やすということとは。

答 補助対象を高校2年生までとします。

問 台湾との交流事業は、町にどの位の効果がありますか。

答 現在2ヶ所ある雪室には、こめ・ラフランスやじゃが芋が貯蔵されていますが、今後、

問 子どもの体力低下についてどのように取り組んでいるか。また、町からの支援だけでは基礎体力の向上計画は、運営がむづかしいのでは。

答 教育計画の中で位置付け、子どもの食生活リズムを学んでいく機会を設け、朝ランニングの呼びかけや、部活動に入る前の共通ストレッチなどに取り組んでいます。

問 スポーツクラブと地域の関わりについて、

答 地域との交流の場として、体力づくりを促進し、地区の体育協会とも連携を深め、スポーツクラブと体育協会との交わる部分を整理していきます。

問 スポー

答 宿泊や食事の提供はありませんが、売店はイチゴ狩りなどで経済効果があります。

答 宿泊や食事の提供はありませんが、売店はイチゴ狩りなどで経済効果があります。利用拡大に努めます。

問 雪室を有効活用し、付加価値を高めては。

答 現在2ヶ所ある雪室には、こめ・ラフランスやじゃが芋が貯蔵されていますが、今後、

問 台湾との交流事業は、町にどの位の効果がありますか。

答 現在2ヶ所ある雪室には、こめ・ラフランスやじゃが芋が貯蔵されていますが、今後、



台湾からの来訪者

読者の声

東京飯豊会50周年を祝う

総会に参加して



大字 椿
小川 幸生さん

東京飯豊会総会参加者募集がありました。かねてより関心があった東京飯豊会なので、すぐ申し込みました。

3月6日午前4時半に役場前を出発。町長、産業振興課長、町議会代表の方々と私を乗せたマイクロバスは、早春の東北道を一路南下。9時半前には会場のホテル・ラングウツトに着きました。

開会の11時。山口弘二会長のあいさつで総会が進む中、「ふるさとへ桜木贈呈」会長より町長に目録が手渡されました。50周年記念事業とのこと。ありがたいことです。

続く来賓祝辞で総会を終え、懇親会に移り

アトラクションとして、小白川神社のあばれ獅子が披露されました。時ならぬ獅子舞に会場はエキサイト。ふるさと気分を存分に味わっていただけたようでした。また、「お楽しみ抽選会」も大いに盛り上がり、予定の時間がオーバー。最後に「ふるさと」の全員合唱、万歳三唱でお開きとなりました。

東京飯豊会の皆様のこれまでのご苦労に敬意を表し、ふるさと飯豊町へのお心遣いに感謝申し上げます。午後3時過ぎ帰路につきました。

東京飯豊会の更なるご発展をご祈念申し上げます。

東日本大震災で被災された地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

あつがき

未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震で被害を受けた方々に心からお見舞い申し上げます。

本町にも300人近い方々が避難されていますが、町上げて支援しなければと思えました。

町内でも停電になり、寒さと真つ暗闇の中で不安な一夜をすごしたり、様々な日用品が手に入らず困っています。何より、ガソリンが買えず無用の長物と化した自動車。間接災害と言っては過言でしょうか。

常日頃、災害常備品の点検を痛切に感じました。

(長沼記)